

北部コミセン通信

自主事業・パッチワーク教室

つるし雛が華やかに

北部コミセンのロビーが、つるし雛で華やかに彩られています。ひな祭りに合わせて、パッチワーク教室の面々が製作したものです。色とりどりの布地を組み合わせた、人形や毬



椿の花など一つ一つが見ごたえがあります。

丁寧に見ていくと、今大人気の「鬼滅の刃」をイメージした人形があつたり遊び心も満載です。

の湯の利用者が、つるし雛を見上げて「すごいね〜！」と感嘆の声を上げる場面もたびたびです。

パッチワーク教室は、月2回行われていましたが、現在は毎週木曜日の開講です。コロナ禍で12月〜1月はお休みしましたが、再開した今は絶好調。メンバー募集中です。



北部地区「親子サロン」

覗いてみてください

お子さんとその保護者を対象に、お喋りの輪の中から、子育てのヒントや仲間を見つけてもらおうという、滝沢市社会福祉協議会主催の「親子サロン」が、北部コミセンの談話室で月2回開かれています。

開催日には朝から主任児童委員やおもちゃコンサルタントマイスター、民生児童委員が談話室におもちゃや絵本を広げてサロンの準備。毎回数組の親子がやってきて、おもちやに夢中の子供たちのかたわらで親同士や経験豊かなスタッフとの間で子育ての話が弾んでいます。時にはおやつ作りなどにも挑戦です。

継続する中で新しく参加する親子も増えてきて、北部地区にも親子サロンが浸透してきているようです。ぜひ気軽に遊びに来てください。



◇毎月第1・第3火曜日

午前10時〜11時30分

◇お問い合わせは滝沢市社会福祉協議会まで

☎684・1110



北コミ日記

〇月〇日 晴れ

東日本大震災発生から10年がたち、メディアでは連日特集が組まれる日々だが、社会福祉法人やまゆり会が、北部コミセンの指定管理者を拝命したのもこの年の4月1日だ。

10年前、当時の滝沢村から管理運営を引き継いだ時、北部コミセンは大震災の救援活動で北海道から派遣された陸上自衛隊の後方基地となっていた。宮古市や山田町で被災者の生活支援活動をし、交代で北部コミセンにやってきて、一週間ぶりの入浴を楽しみ、リフレッシュしてまた沿岸に向かうのだ。



10年前、北部コミセンの駐車場は自衛隊車両で埋め尽くされたところ。

隊からの依頼で夕食の寿司や弁当、飲み物の手配で、生協や酒屋さんに協力をお願いして回ったところが懐かしい。

震災の被

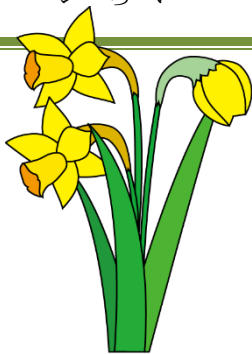
害は北部コミセンにも及んでいた。大集会室の天井パネルが十数枚落下し、跳ね上げ式のバスケットボールゴール板の、鉄骨組みが歪んで動かなくなっていた。引継ぎ後最初の修繕だった。自衛隊の皆さんが撤収し、いよいよ一般利用が始まったのは7月。指定管理者としてのスタートでもあった。

一般利用がストップしていた3か月半は、私たちにとっては貴重な準備期間だった。北の湯は自衛隊のために毎日お湯を張っていたためにボイラー操作には不安がなかった。初めて触るレジスターの習熟も万全。再開を待ちわびていた利用者を安心して迎えられたのだ。

この年の自主事業は4件。7月に開催した北部コミセン運営委員会が要望が出た老人クラブ對抗輪投げ大会。自衛隊駐屯地音楽隊による慰問演奏会を地域の皆さんにも開放した北部音楽会では、盛岡農業高校吹奏楽部との合同演奏が実現した。大震災後の自衛隊の救援活動を紹介した写真展も反響があった。そして同好の士を募つての麻雀大会だ。

今年度、コロナ禍で中止になったものも多いが16件の自主事業を予定していた。4件からスタートして、パッチワーク教室や写真サロンなど年ごとに増えてきていたのだ。

来年度は、ウイルス感染症予防に十分配慮して、開催できるよう力を尽くしたい。(塩田)



ぼやき川柳

(NHKラジオ 関西発ラジオ深夜便) 第1・2・3金曜日 23:05~

☆旅行しろ帰省はするななんだそれ
☆葬儀屋のエントランスに招き猫

ぬくだまりますよ

北の湯

介護予防施設
毎週火・金曜日 午後1時~5時
無料 概ね65歳以上の滝沢市民対象

北の湯開設日	★健康相談日
★3月16日(火)	3月19日(金)
3月23日(火)	★3月26日(金)
3月30日(火)	★4月2日(金)
4月6日(火)	★4月9日(金)
4月13日(火)	★4月16日(金)

発行：社会福祉法人やまゆり会

滝沢市北部コミュニティセンター 〒020-0611 滝沢市菓子148 Tel 688-5111

ホームページ <http://www.takizawa-hokubu.com/>